

## グラスコーティングリキッド

(セルローズ繊維兼配合)

A R C グラスコーティング

均一塗布性

### 1. 要 旨

A C S グループでボデーのメンテナンス用として出荷している現製品、特に所詮コート剤はプロフェッショナルな専門家向けであり業者の使用する機械類と豊かな経験を生かせる仕様になっております。最近の業界の流れとして給油所での作業収益の一環として取り上げられつつあります。唯、作業担当者のレベルはセミプロ或いはアルバイト的な素人が多く作業性が良く高品質の仕上がりを求められています。「A R C グラスコーティング」はプロ向けのA R C グラスコーティング、A R C グラスコーティング、A R C グラスコーティングの特性を保持しながら作業性の良い高品質の製品として開発しました。

### 2. 特 性

「A R C グラスコーティング」はシリコン弗素系コーポリマーにガラス繊維素を配し珪素重合ポリマーリキッドにした製品です。組織の緻密化を図るセルローズ樹脂を添加し更にリキッド塗膜の均一膜厚の為、超マイクロ粒子の軟性珪素土粉末(モース硬度 2.0 以下)をエマルジョン物質として加えております

珪素土微粉末を拭き取るだけで塗布時の膜厚の不均一による塗り斑の発生を防止する様に検討しております。

基本的な形成保護膜の硬度、持続性に影響は全く有りません。セミプロ向け特に給油所の作業でドライウエスのみで仕上げられ時間的な経済性とミスのない製品として検討されております。

- (1) 塗装面の固着汚れを専用洗剤で除去し薬品気の無くなる様に充分水洗して下さい。
- (2) ウエスで水分を拭き取って下さい。多少の微粒水分は塗布均一化の作業に支障有りません。出来れば残存水滴は拭き取って下さい。
- (3) 「A R C グラスコーティング」の容器を良く振ってから使用して下さい。経時による 25 ~ 30%の透明なる上層を分離形成しますが、振っての均一化は充分計られ性能品質には全く影響ありません。
- (4) 少長を目の細かいスポンジで塗装面に均一に塗布して下さい。
- (5) 2~3分後には微白色の面を呈しますので乾いたウエスで吹き上げて下さい。表面の光沢、斑、平滑性を確かめドライウエス仕上げして下さい。
- (6) 緻密な保護膜形成に 20~30分要しますのでその間水洗または雨中の走行は控えて下さい。

### 3. 効 果

- ・ 斑なく優美な光沢と疎水面であると同時に撥水感を得られる塗装保護膜を形成します。
- ・ 給油所に於けるセミプロ級で簡単に失敗なく作業が出来ます。
- ・ 塗装面に密着したグラスコート架橋膜は 2 ヶ月一回位の汚れ除去等のメンテナンス作業で 2 年以上の保護勝としての持続性を有しております。

### 4. 総 括

「A R C グラスコーティング」を十分に使いこなした担当者は品質的には更に上の「A R C グラスコーティング」に移行して下さい。